

# 市民参加に関する市民の意識に係る調査結果

## 【調査概要】

### ① 目的

市民の市政やまちづくり活動への意識や参加状況等を把握し、「次期京都市市民参加推進計画」策定の基礎資料とする。

### ② 設問数

20問

### ③ 調査時期

令和7年4月～5月

### ④ 調査対象

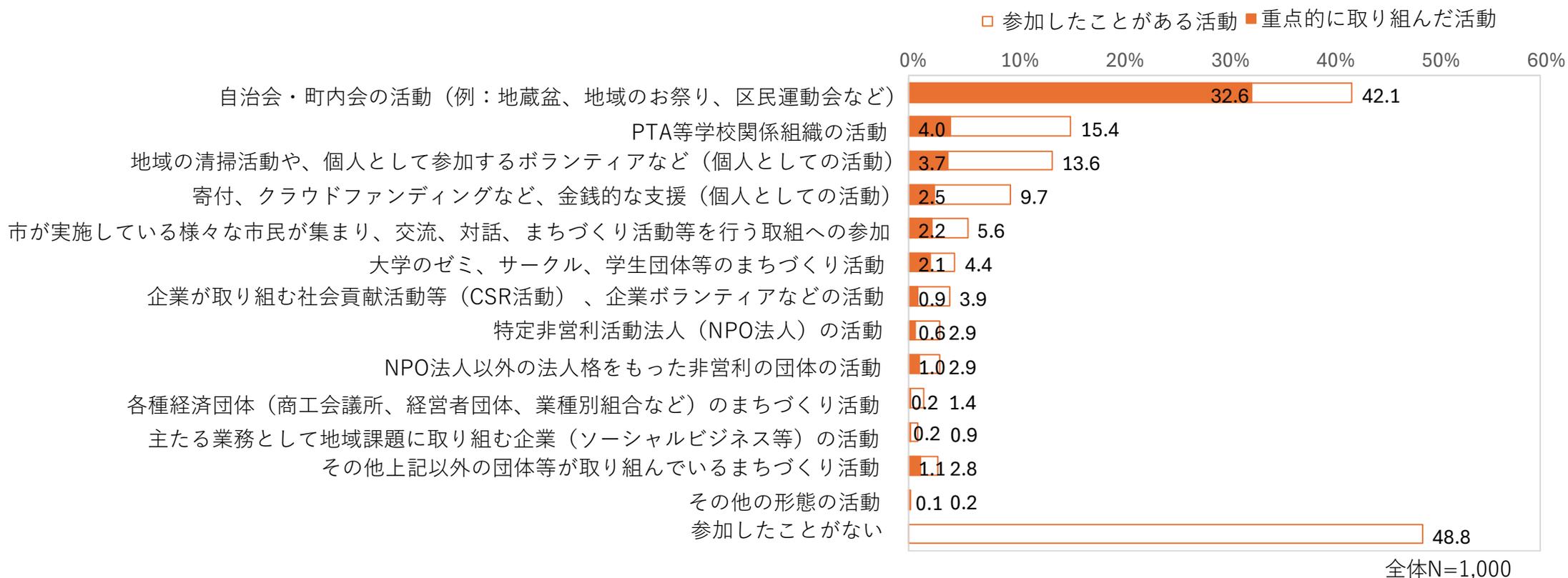
市民1,000人（市内在住、京都市民と同じ性別・年齢構成／民間調査会社のインターネットモニター）

### ⑤ 調査方法

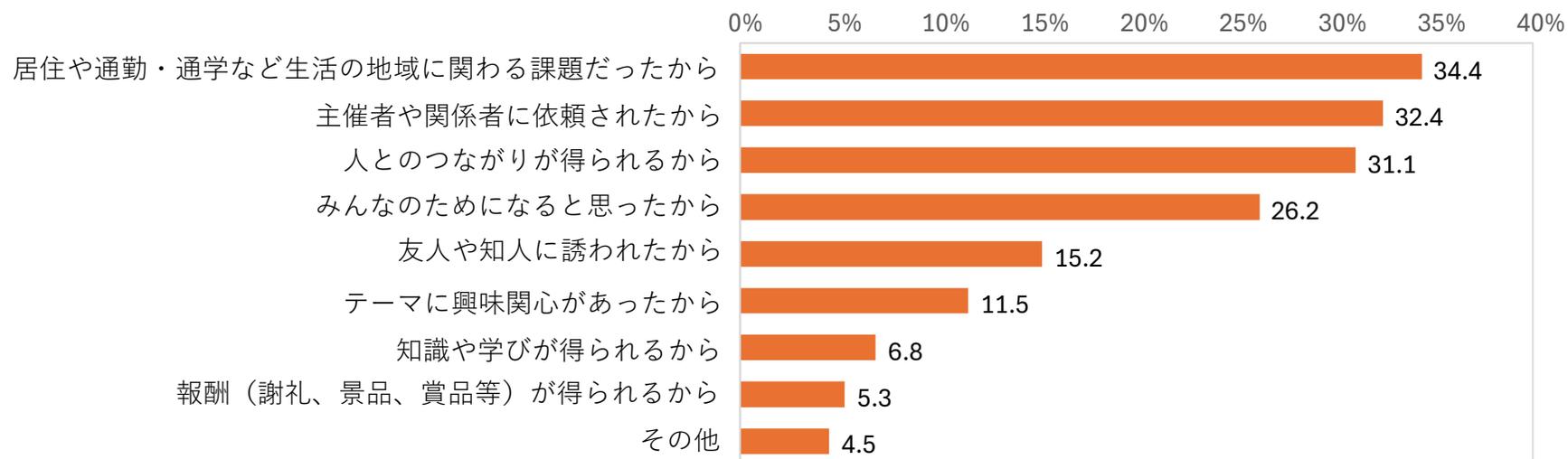
パソコン、スマートフォン等での回答

# 問1

あなたがこれまでに参加されたことがある「まちづくり活動」について、次の中からあてはまるものを全てお選びください。  
また、その中から最も重点的に取り組んでいる(取り組んだ)活動を1つお選びください。



【問1で「まちづくり活動」に参加されたことがあると回答された方にお尋ねします。】  
あなたが「まちづくり活動」に参加した理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。



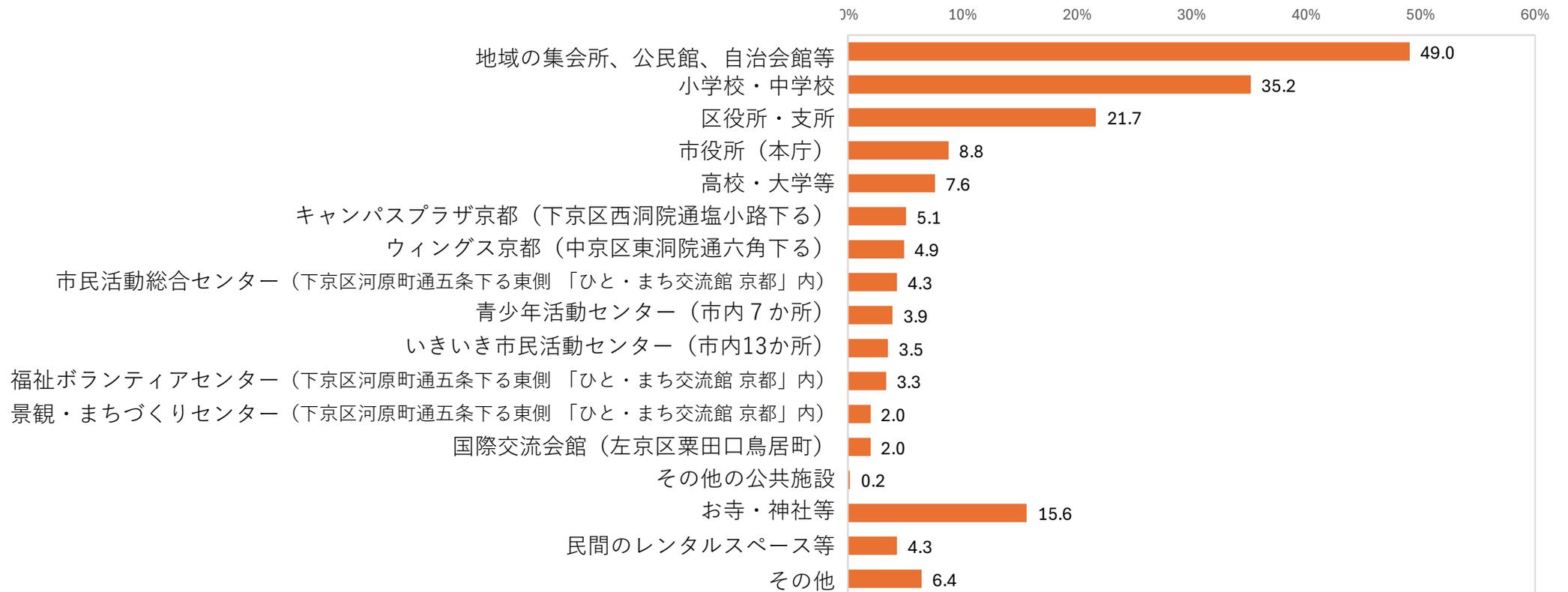
問1「まちづくり活動に参加したことがある」回答者 N=512

### 問3

【問1で「まちづくり活動」に参加されたことがあると回答された方にお尋ねします。】

市内にはまちづくり活動をする際に利用したり、相談したりできる様々な施設があります。

これまでにまちづくり活動のために、利用されたことのある施設について、次の中からあてはまるものを全てお選びください。



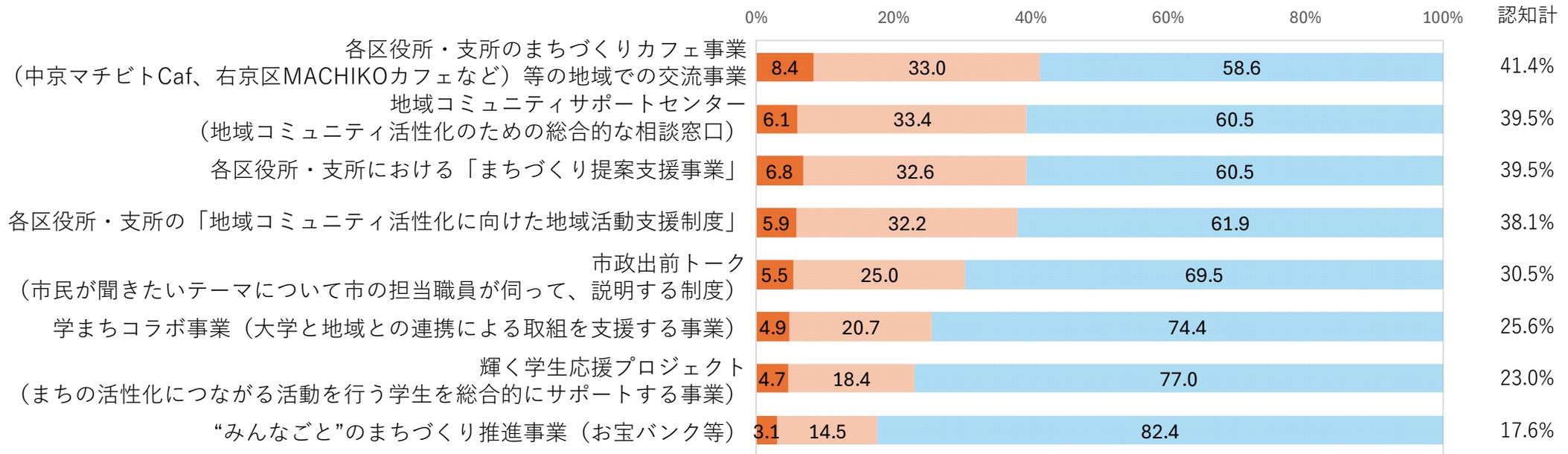
問1「まちづくり活動に参加したことがある」回答者 N=512

# 問4

【問1で「まちづくり活動」に参加されたことがあると回答された方にお尋ねします。】

京都市では、まちづくり活動に取り組む皆さんに、活動のきっかけづくりや、活動される人々が出会い、繋がり、連携・協働するための支援、地域コミュニティの活動支援など様々な取組を行っています。以下に挙げた事業について、参加もしくは利用されたことがあるか、またご存知かについて、事業ごとに当てはまるものを1つずつお選びください。

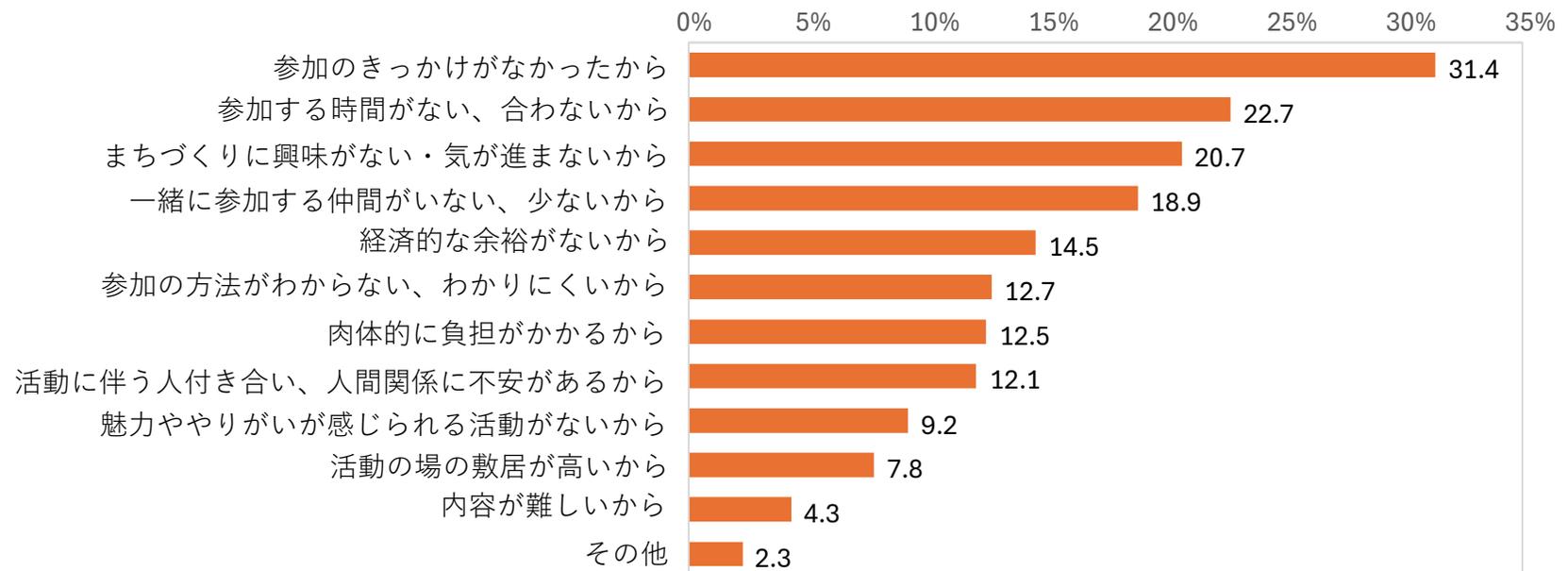
■ 参加・利用したことがある    ■ 参加・利用したことはないが知っている    ■ 知らない



問1「まちづくり活動に参加したことがある」回答者 N=512

## 問5

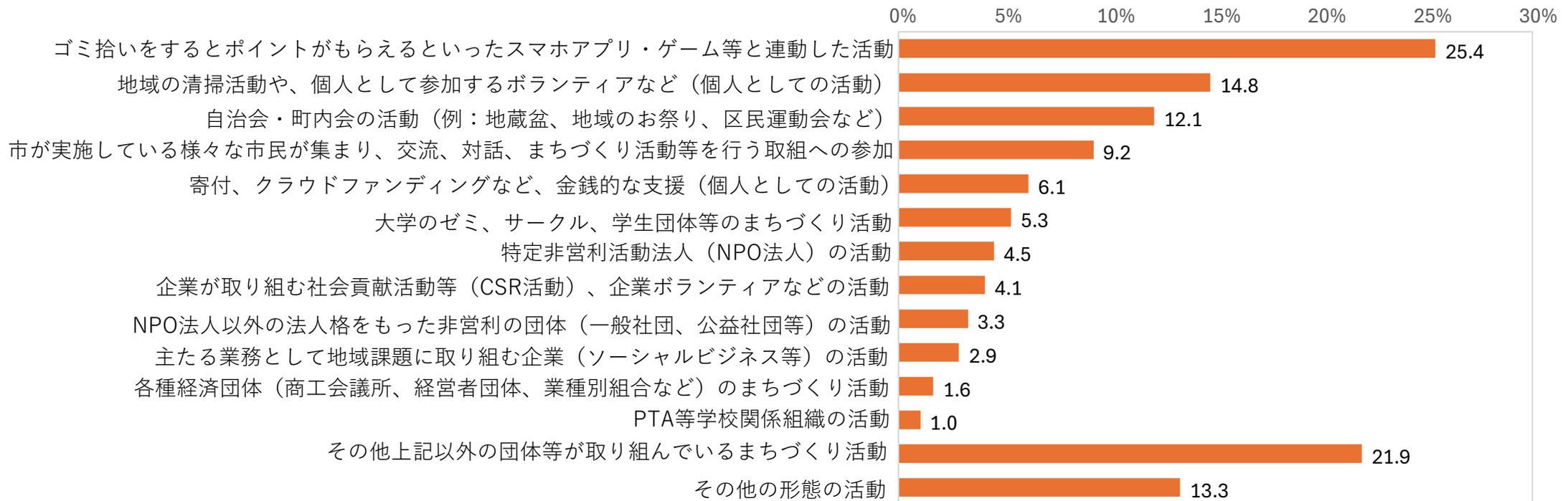
【問1で「まちづくり活動」に参加されたことがないと回答された方にお尋ねします。】  
あなたがまちづくり活動に参加されなかった理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。



問1「まちづくり活動に参加したことがない」回答者 N=488

## 問6

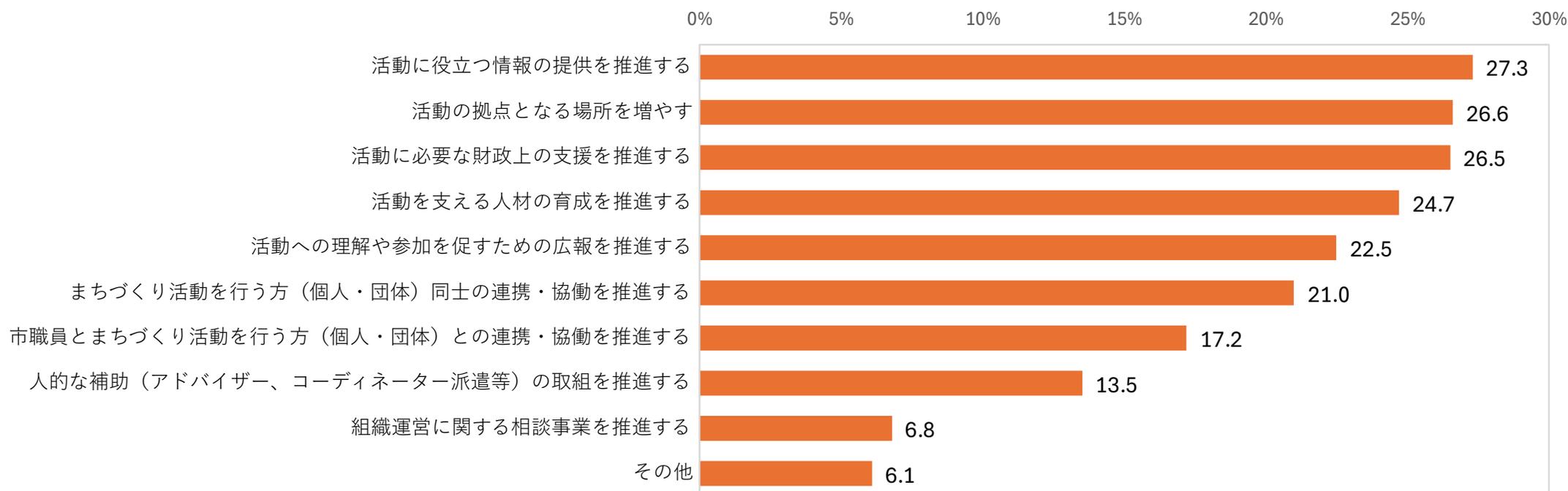
【問1で「まちづくり活動」に参加されたことがないと回答された方にお尋ねします。】  
どのような「まちづくり活動」であれば参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。



問1「まちづくり活動に参加したことがない」回答者 N=488

# 問7

今後さらにまちづくり活動を活性化させるために京都市が行う取組として、あなたはどのようなことが大切だと思われるか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。

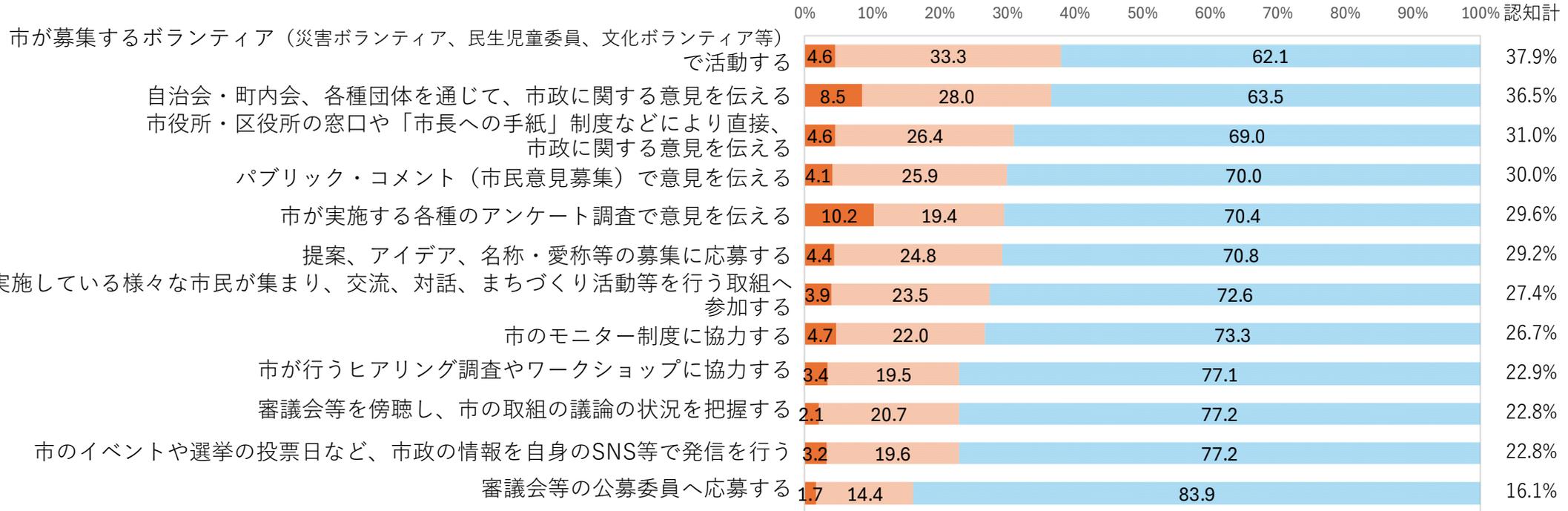


全体 N=1,000

# 問8

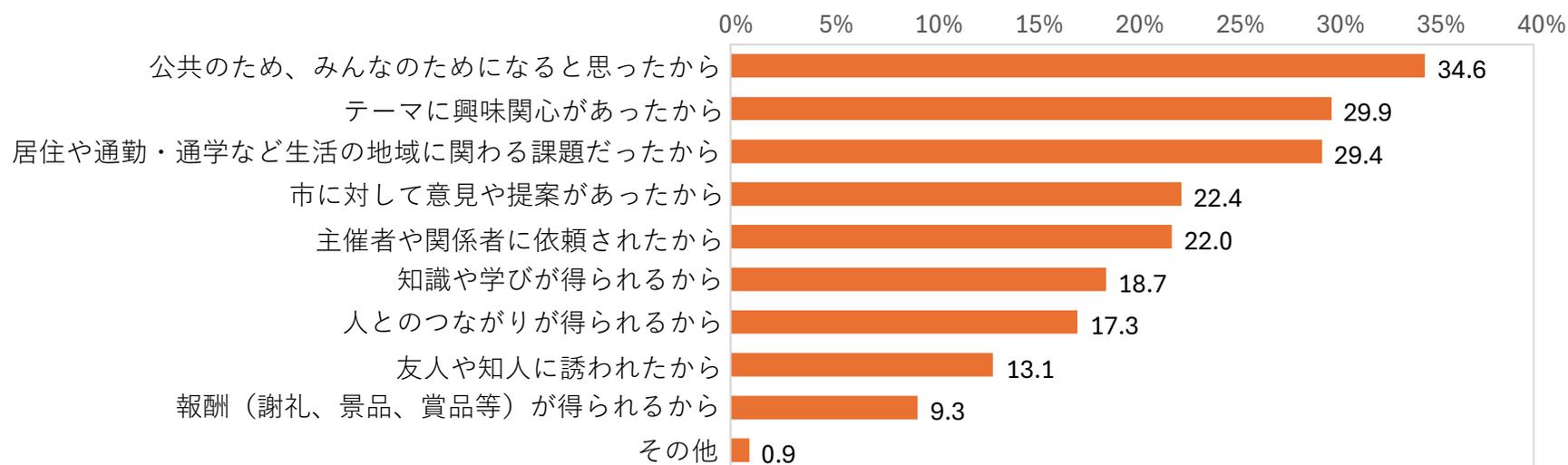
「市政参加」の主な方法として、次のようなものがあります。  
 この中であなたが参加・利用・回答されたことがあるか、またご存知かについて、取組ごとに当てはまるものを1つずつお選びください。

■ 参加・利用・回答したことがある ■ 参加・利用・回答したことはないが知っている ■ 知らない



全体 N=1,000

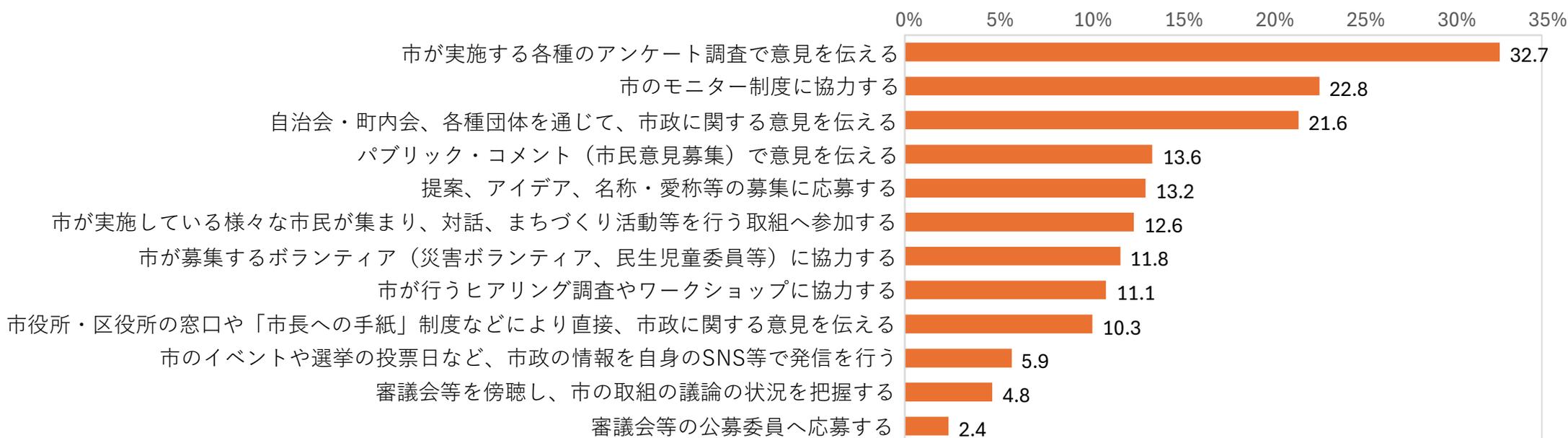
【問8で1つでも「参加・利用・回答したことがある」と回答された方にお尋ねします。】  
あなたが参加・利用・回答した理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。



問8 1つでも「参加・利用・回答したことがある」回答者 N=214

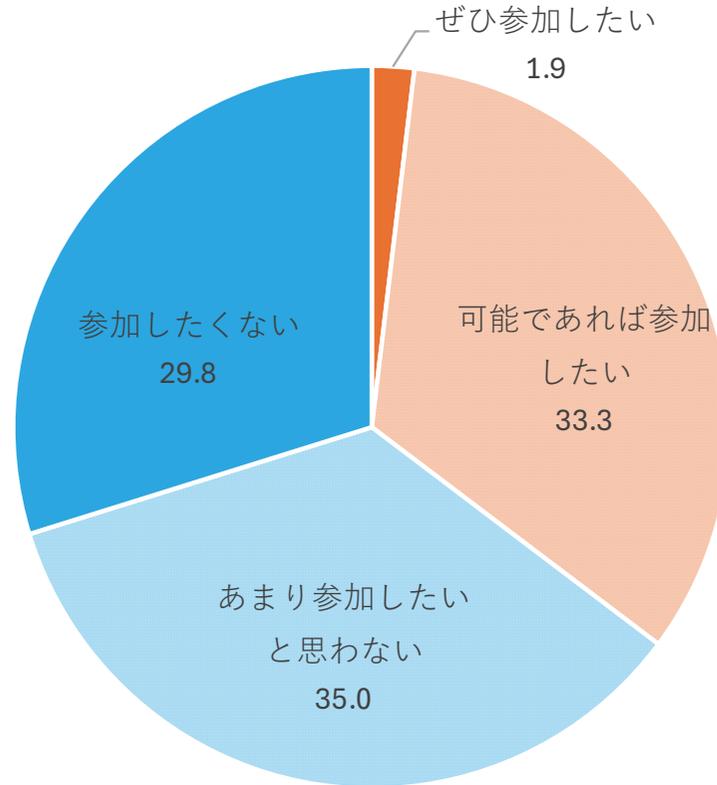
# 問10

【問8ですべて「参加・利用・回答したことはないが知っている」又は「知らない」と回答された方にお尋ねします。】  
 「市政参加」の主な方法として、次のようなものがあります。あなたの関心のある施策や事業に関し、市政参加の機会・時間があつた場合、どのような市政参加の方法であれば参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。



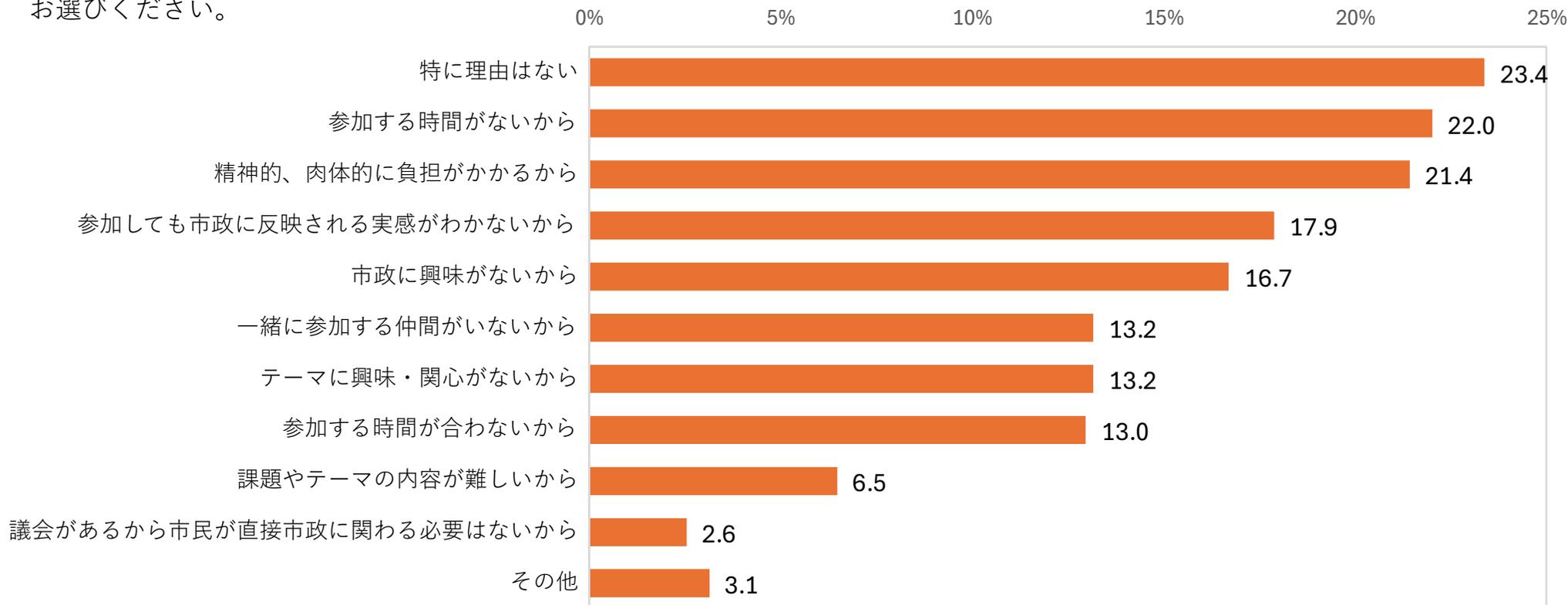
問8 すべて「参加・利用・回答したことはないが知っている」又は「知らない」回答者  
 N=786

【問8ですべて「参加・利用・回答したことはないが知っている」又は「知らない」と回答された方にお尋ねします。】  
 今後、あなたが市政に関連して何らかの課題を感じているときに、京都市の市政に参加できるような機会があれば、参加したいと思いますか。  
 次の中から1つをお選びください。



問8 すべて「参加・利用・回答したことはないが知っている」又は「知らない」回答者 N=786

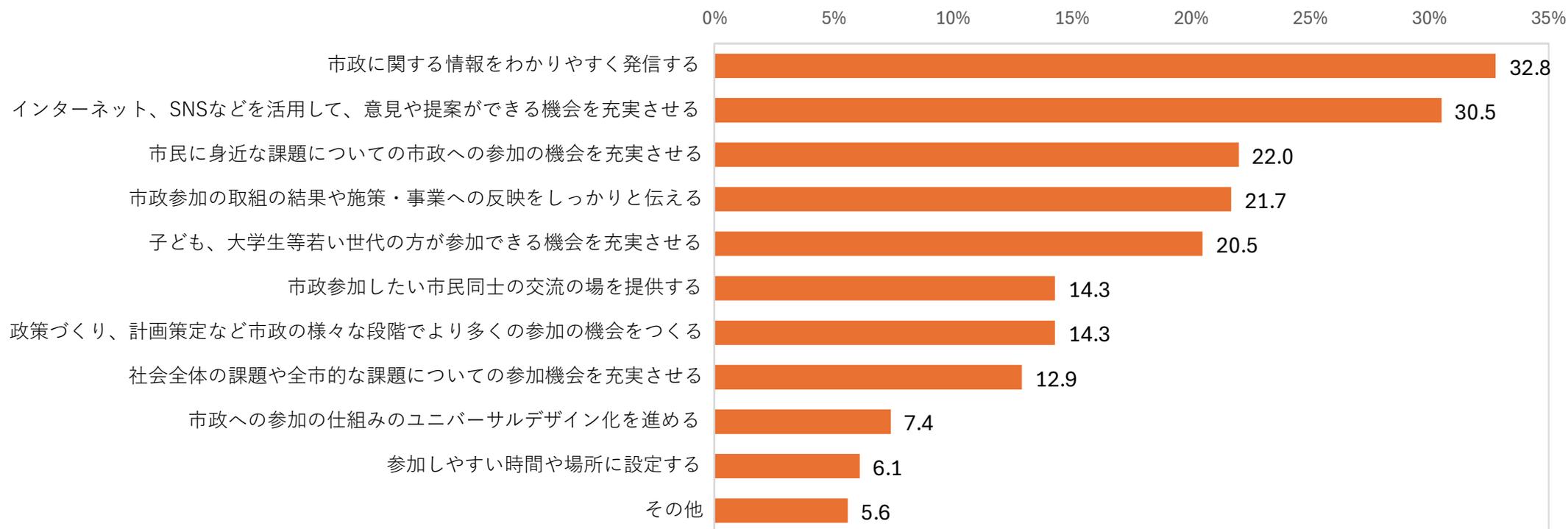
【問11で「あまり参加したいと思わない」「参加したくない」と回答された方にお尋ねします。】  
 あなたが「あまり参加したいと思わない」「参加したくない」主な理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで  
 お選びください。



問11「あまり参加したいと思わない」「参加したくない」回答者 N=509

# 問13

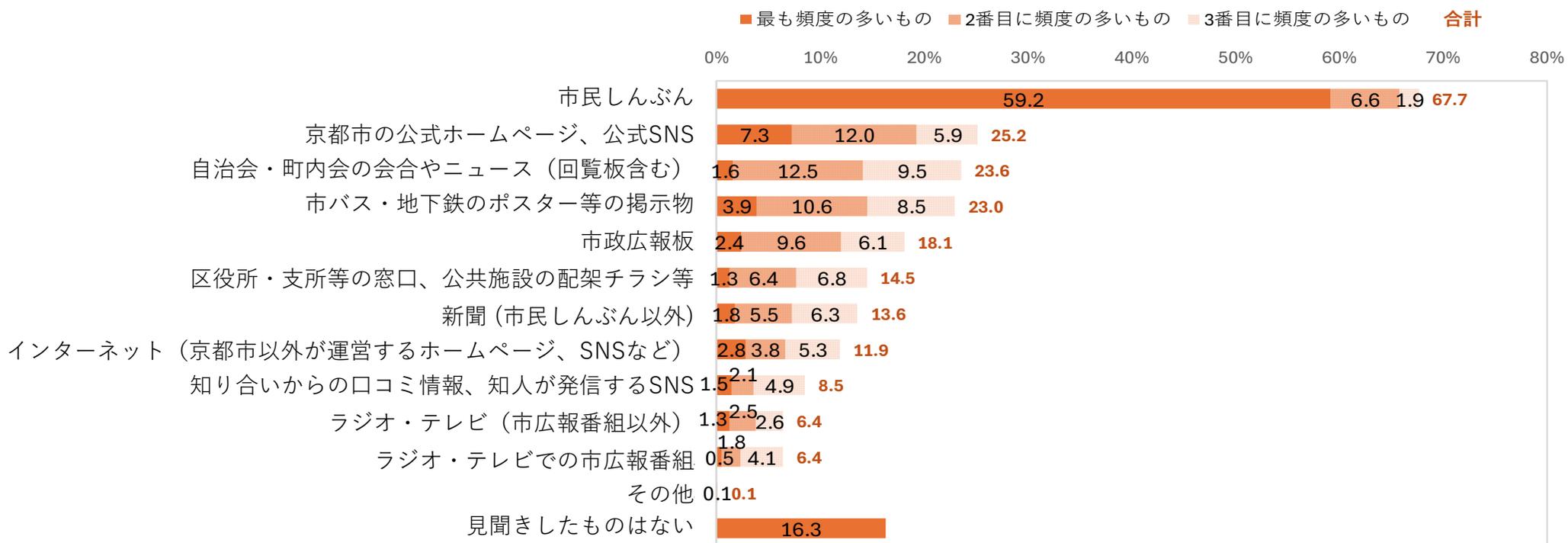
市民の皆さんが市政により一層参加しやすくなるために、京都市がすべきことは何だと思えますか。  
次の中からあてはまるものを3つまでお選びください。



全体 N=1,000

# 問14

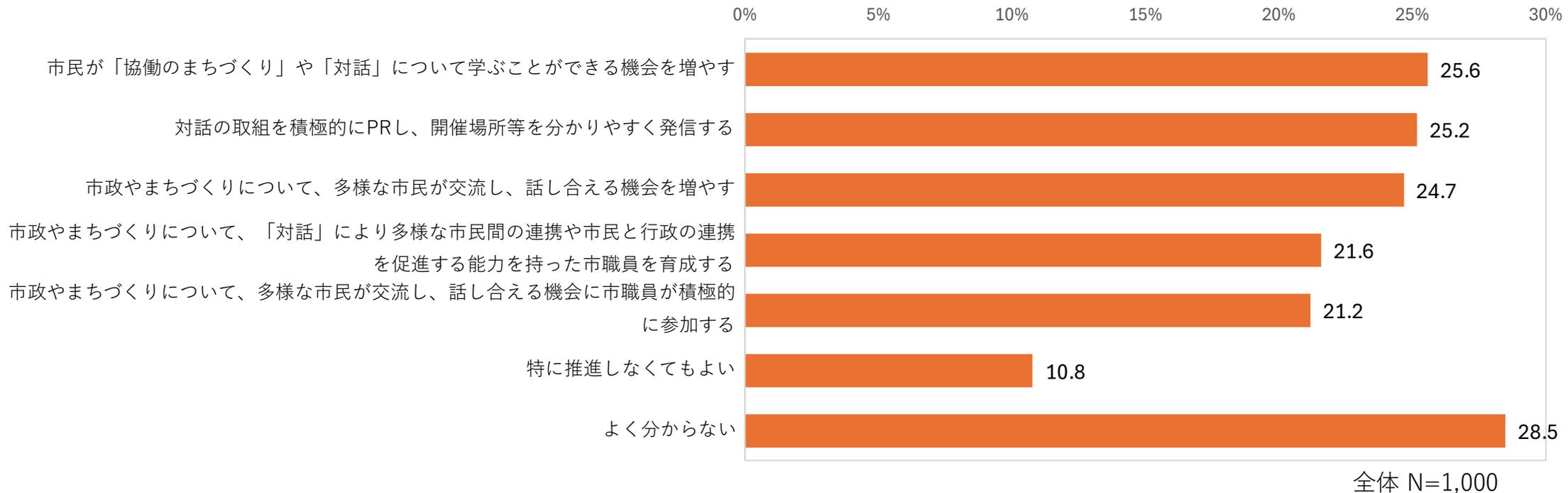
京都市では、市政参加やまちづくり活動の情報を色々な媒体で発信しています。  
 あなたがこれまで、市政参加やまちづくり活動の情報を得たり、見聞きしたりした媒体で、頻度の多いものを3つまでお選びください。



全体 N=1,000

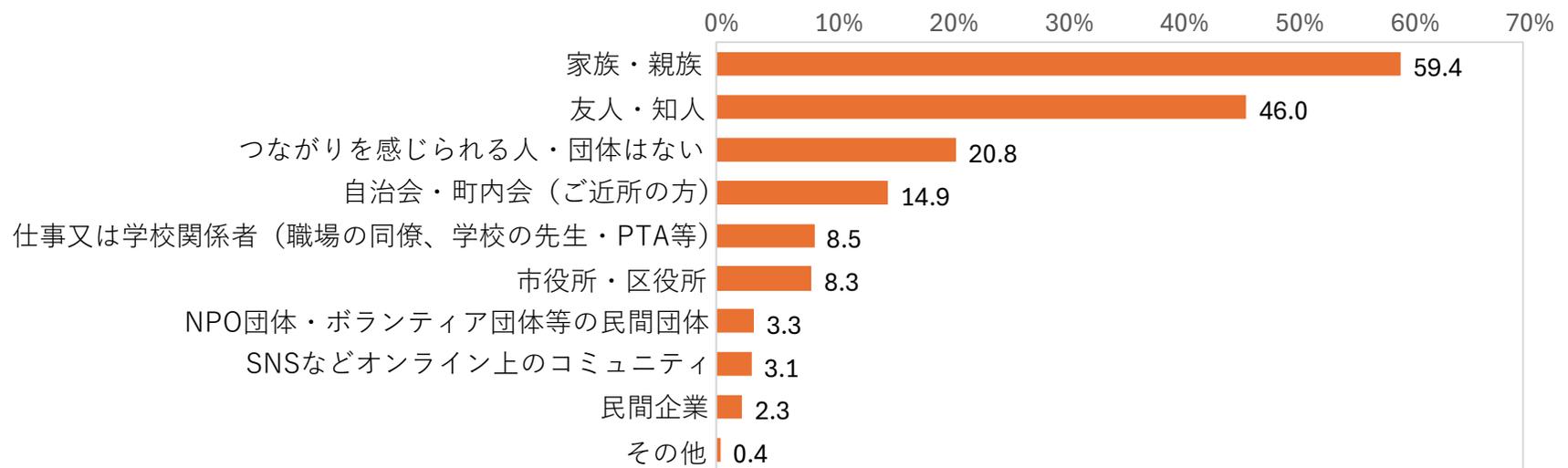
# 問15

京都市では、市民の皆さんと共に、知恵と能力を結集して解決を考えていく「協働のまちづくり」の実現のため、多様な市民（個人、企業、NPO、各種団体、大学、寺社等）と行政が対等な立場で一緒に話し合い、考える「対話」の取組を推進しています。「対話」の取組について、京都市がこれから力を入れて進めるべきと思うことについて、次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。



# 問16

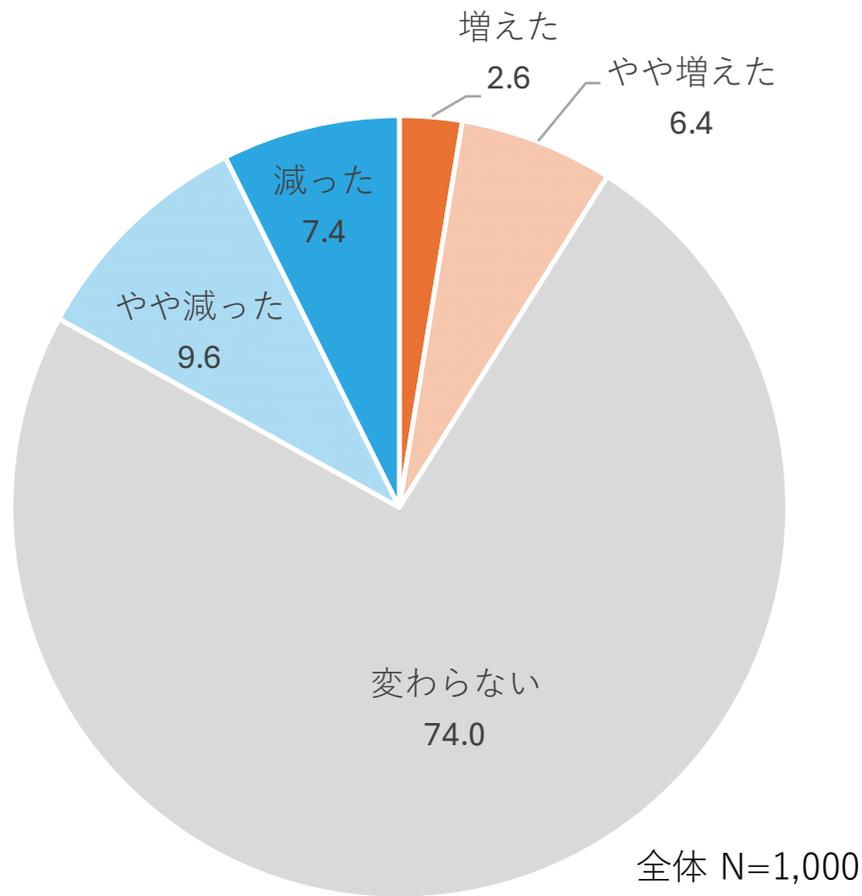
あなたには、何か新しいことを始めたいときや困ったときに頼れる等、つながりを感じられる人・団体等がありますか。  
次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。



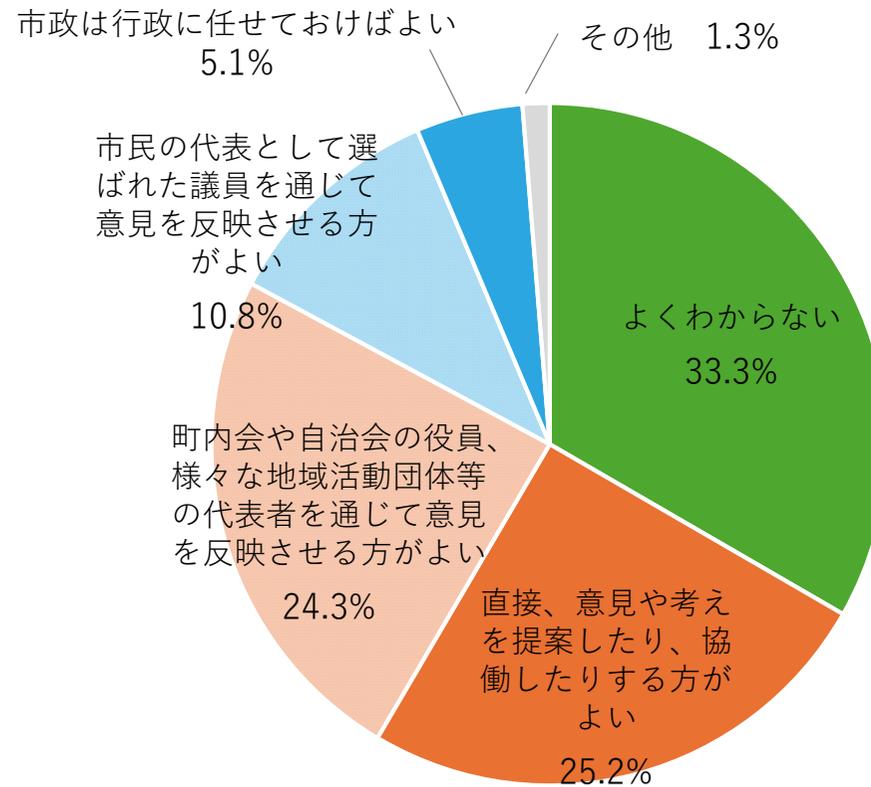
全体N=1,000

# 問17

新型コロナウイルス感染症の流行前（令和元年度（2019年度）以前）と比較して、令和7年（2025年）4月現在のあなたの「まちづくり活動への参加の機会 ※1 又は市政への参加の機会 ※2（オンラインによる参加含む）」について、変化はありましたか。次の中からあてはまるものをお選びください。



あなたは、市政に対する市民の関わり方は、どのような形がよいと思いますか。次の中から1つをお選びください。



全体 N=1,000

# 問19

あなた自身のことについてお尋ねします。次の各項目について、それぞれいずれか1つをお選びください。

## ■性別

男	女
480	580

## ■年齢

18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
162	120	148	175	133	262

## ■居住区

北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	伏見区
78	56	110	78	26	93	57	74	136	102	190

## ■職業

自営業・自由業	給与所得者	主婦・主夫	学生	無職	その他
96	426	187	61	204	26

「市政への参加」や「まちづくり活動」について、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

### 【主な御意見】

- ・市民がもっと気楽に市政に参加できるようにしてほしい
- ・若者世代が市政へ参加しやすいような情報提供があると嬉しい
- ・誰でも、気軽に、どんな時にでも、楽しく参加できる機会があれば、関わる方も増えるように思う。少しのお得感がプラスされると、もっと良い
- ・自分にできることがあれば積極的に参加していきたい
- ・目につきやすいポスターやチラシを増やせば参加するきっかけになると思う
- ・小さい頃に比べて地域の自治会の交流や取り組みが減ったと感じる
- ・忙しい社会人もオンラインで参加できればいい
- ・ネットから市政へ参加できるように環境を整えてほしいです。時間があれば活動に参加したりしますが予定が合わない時などは見送ることも多い。ネットでいつでもどこでも市政と繋がれて意見やアイデアを提供できるようになれば最高
- ・子育て世代、働く世代は時間に余裕がないため、スキマ時間にできる活動があると良い
- ・大学生等の若い世代が、公園や公共施設などのパブリックスペース計画に携われるような機会を設けてほしい
- ・もっと市民が直接意見を言えてその発言が良いものであれば反映される市政になるとよいと思う
- ・京都市に住んでいて、あまり市政については知らなかった（知ろうとしていない）んだと気付いた。何かきっかけがあると身近に感じられるかなと思う
- ・地域の行事に意見を聞いてくれるスペースや職員さんがいてほしい
- ・区域によって住民の特色が様々である。区域ごとの特色があるので、市全体の一辺倒ではなくそれぞれの区域に合った方法を模索すべきだと思う
- ・無関心な人が多いのと、言っても何も変わらないと思ってる人が多いと思う
- ・企業を通じた活動であれば自然に業務で参加できる可能性がある。企業へのボランティア依頼を増やしてはどうか
- ・市政参加することで、こちらにどのような利点があるのかわからない
- ・市民参加に関わる人と関わらない人との温度差を感じる
- ・子供の頃から市政や社会とのつながりの大切さを学ぶことが大事だと思う
- ・無関心や個人主義が増えた。これといった強力な提案は見つからないが発信し続けることが大切
- ・やりたいが、なかなか一步を踏み出せない、誰か誘ってくれるのもいいかも
- ・自治会のサークルに参加した事により視野が広がったと感じています。小さな取組から広がることではないか
- ・問題意識を持っている市民の声を取りまとめてくれるリーダーの育成が大事だと思う
- ・行き場のない高齢者が引きこもらないで集える場所があると良い。また放課後の子供たちが地域で安心して遊べる場があればと思う